

ヨーロッパ大陸第 1 号物件としてパリでオフィスビルを取得 欧州事業ポートフォリオの更なる拡大と多様化へ

三菱地所株式会社は、英国子会社である三菱地所ロンドン社 (Mitsubishi Estate London Ltd.) を通じて、2014 年 12 月 22 日にフランス・パリにてオフィスビル「46 Rue La Boétie」を取得しましたので、お知らせします。本物件は、凱旋門やシャンゼリゼ通りからも程近いパリ中心部の 8 区に位置するオフィスビルで、三菱地所グループとしてはヨーロッパ大陸に保有する初の物件となります。

本物件の位置するボエシー通りは、オスマン通りやサントノーレ通りといった著名な大通りの間に位置しており、オフィス立地としての評価が高く多様なテナント需要を背景に賃貸マーケットが堅調に推移しているエリアです。クラシックな様式の建物が多いパリ中心部においては珍しく、現代的な外観デザインを有した高スペックオフィスビルで、現在 100%の稼働率を誇ります。

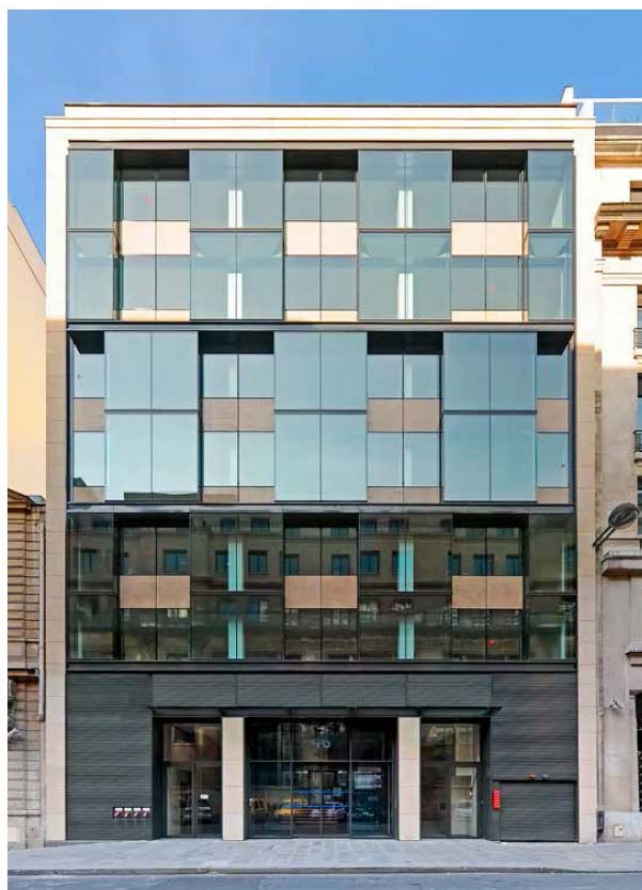
三菱地所グループは、1986 年に英国現地法人を設立して以降、ロンドン中心エリアにおいてオフィスビルを中心に不動産開発・賃貸事業を展開しております。現在はロンドンにて 7 物件を有しておりますが、欧州における更なるポートフォリオの拡大および多様化を企図し、今般、欧州の都市ではロンドンに匹敵するオフィス市場規模を有するパリにおいて、本物件を取得しました。

＜物件概要＞

所在地： フランス・パリ 46ボエシー通り (Rue La Boétie)
敷地面積： 約580㎡ (約175坪)
貸付有効面積： 約2,400㎡ (約730坪)
建物規模： 地上9階、地下駐車場
主要用途： 事務所
竣工： 1964年 (2008年に大規模改修済み)

三菱地所グループは、海外事業を重点的に強化する領域の 1 つに位置づけ、より一層の成長を目指しています。国内ならびに海外でのこれまでの事業展開により蓄積してきた不動産開発、運営等のノウハウを最大限に活用することで、今後も更なる海外事業の成長を目指していきます。

【外観写真】



【内装写真】



【物件所在地】

パリ中心部地図：

